

# ごみってどうなる？ごみをどうする？

—わたしたちの生活とごみ—

4年社会 1月～2月 42Q (14時間)  
 附属新潟小学校 教諭 八幡 昌樹

## 1 目指す姿

- 廃棄物処理の対策や事業の目的をとらえ、地域社会の一員としての自覚をもつ子ども  
 「新潟市は、ごみを減らし資源物を増やして、環境をよくするために、新しいきまりをつくった。旭水町内会では、きれいに正しくごみを集めて住みよい生活ができるように、ごみを集める籠を交代で回して協力している。どちらにも健康で気持ちよく生活するためという目的があり、きまりを守ることが協力につながる。自分もよりよい地域社会にするために、ごみを捨てるときのきまりを守って協力しよう」
- (1) 「**中核的な学習内容**」：廃棄物処理の対策や事業の目的
- (2) 「**学びをつなぐ力**」①：関係付けるすべを用いて、生活経験や廃棄物処理の仕組みについての知識を基に、旭水町内会の取組の内容に関する情報を収集する力  
 ②：関係付けるすべを用いて、学習問題の解決につながる複数の情報を総合して、旭水町内会の取組の目的を考える力  
 ③：関係付けるすべを用いて、新潟市の新ごみ減量制度と旭水町内会の取組との共通点を基に、廃棄物処理の対策や事業の目的を考える力
- (3) 「**学びをつなぐ力**」の有用性の自覚：生活経験や廃棄物処理の仕組み、新潟市の新ごみ減量制度と旭水町内会の取組についての情報を関係付けて収集したことや、情報を総合して考えたことで、廃棄物処理の対策や事業の目的を考えることができたという自覚

## 2 単元の計画

	【学習活動】☆つなぐ力	【働き掛け】	Q
一 次	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校ではどんなごみが、どこから出されているか話し合う。</li> <li>○ 家庭ではどんなごみが、どのように出されているか話し合う。</li> <li>○ 学習問題を設定する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◎ 私たちが出したごみは、どのように集められ、処理されているのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習問題に対して予想し、学習の計画を立てる。</li> <li>○ ごみステーションとごみ収集車を調べ、ごみを回収する作業について考える。</li> <li>○ 回収された後のごみの行方について話し合い、見学の計画を立てる。</li> <li>○ 新田清掃センターに見学に行く。                      ・見学して、見たこと聞いたことをノートにメモする。                      ・疑問に思ったことを質問する。</li> <li>○ 学習問題に対する考えをまとめる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○ 私たちが出したごみは、種類毎に計画的に集められ、衛生的に処理されている。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 学校ではどんなごみが出されているかを予想させ、学校のごみを調べさせる。</li> <li>◆ 家庭ではどんなごみが出されているかを調べさせ、気付いたことを問う。</li> <li>◆ これからみんなで調べたいことを問い、学習問題を設定させる。</li> </ul>	21 Q 7 時間
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ごみの分別体験をして、現在のごみ出しのきまりについて考える。</li> <li>○ 新しい制度と変更前の制度を比べて、疑問に思うことを発表する。</li> <li>○ 学習問題を設定する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◎ なぜ新潟市は新しいごみの分け方、出し方のきまりをつくったのか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習問題に対して予想し、学習の計画を立てる。</li> <li>○ 新潟市の「新ごみ減量制度」について調べ、導入前後の変化について考える。</li> <li>○ 学習問題に対する考えをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 教室のごみ、分別の判断が難しいごみ等を提示し、ごみの種類を問う。</li> <li>◆ ごみ分別百科事典を提示して、ごみの分別が正しいか確認させる。</li> <li>◆ 変更前の制度の内容が分かる資料を提示する。</li> <li>◆ これからみんなで調べたいことを問い、学習問題を設定させる。</li> <li>◆ 予想を出し合い、これからの学習の視点をもたせる。</li> <li>◆ 副読本「ごみってなあに」を提示し、「新ごみ減量制度」導入後の変化について、分ったことや考えたことを問う。</li> <li>◆ 新潟市廃棄物対策課の方を招き、制度の目的や成果について話していただく。</li> </ul>	

○ **新潟市は、ごみの量を減らし資源を増やして、環境をよくするために、新しいきまりをつくった。**

- クリーンにいがた推進員の活動について考える。
  - ・ごみステーションが正しく使われるように活動している人がいる。

**【既存事項】** 自分の生活経験  
廃棄物処理の仕組み  
新ごみ減量制度の目的

- ごみ収集の籠が移動していることについて、疑問に思うことを出し合って、学習問題を設定する。
  - ・なぜごみを集める籠の場所が変わるのか。
  - ・誰が動かしたのか。

◎ **誰が何のためにごみを集める籠を動かしているのか。**

- 学習問題に対して予想する。
  - ・籠までの距離が違うから平等に。
- 取組の内容について、「対象」から分かることを調べる。
  - ★つなぐ力①
  - ・同じ間隔で籠が動いている。
- 地図を調べて分かったことから学習問題に対する考えをもち、学級全体としての仮説をまとめる。
  - ★つなぐ力②
  - ・地域の住民が平等に出せるように朝早く籠を出している。
- 仮説を見直し、学習問題に対する自分の考えをまとめる。
  - ・道の幅が狭く歩道がないから。
- ゲストティーチャーの話聞いて、仮説が正しいかを確かめる。

○ **旭水町内会では、きれいに正しくごみを集めて住みよい生活ができるように、ごみを集める籠を交代で回すことで協力している。**

- 新潟市の新ごみ減量制度と旭水町内会の取組を比べて、廃棄物処理の対策や事業の目的をとらえる。
  - ★つなぐ力③

○ **どちらにも健康で気持ちよく生活するためという目的があり、きまりを守ることで協力につながる。**

- これからの自分の生活について、よりよい地域社会にするために協力しようと考えよう。

○ **自分もよりよい地域社会にするためにごみを捨てるときのきまりを守って協力しよう。**

- ◆ 学習の振り返りとして「どんな考え方をしたら、何が分かったか」を問う。

- ◆ 違反ごみが捨てられているごみステーションの写真を提示する。
- ◆ クリーンにいがた推進員の方を招いて、活動の内容を話していただく

- ◆ 実際にごみ収集に使われている籠とその籠が日によって移動している写真を連続で提示し、疑問に思うことを問う。
  - 【働き掛け1】
- ◆ みんなで考えたいことを問うて、子どもの疑問を焦点化する。

- ◆ 予想を出し合い、これからの学習の視点をもたせる。

- ◆ ごみステーション周辺の様子を表した地図（「対象」）を提示する。
  - 【働き掛け2】

- ◆ 他の班が分かった情報を共有させるために、自由に動いて見て回らせる。

- ◆ 学習問題に対する考えを問い、交流させる。
  - 【働き掛け3】

- ◆ 予想を確かめる資料を提示し、改めて学習問題に対する考えを問う。
  - 【働き掛け4】

- ◆ 旭水町内会の会長を招き、取組の目的や様子、住民の思いを話していただく。
  - 【働き掛け5】

- ◆ 子どもの質問に授業者が補足してインタビューし、それに答えてもらう形で、ゲストティーチャーの話聞かせる。

- ◆ 新潟市の新ごみ減量制度と旭水町内会の取組を比較させ、ワークシートにまとめさせる。
  - 【働き掛け6】

- ◆ 班毎にワークシートを配付し、観点毎にまとめさせる。

- ◆ 「これまでの学習を生かすには、どうするか」とこれからの行動を問う。
  - 【働き掛け7】

- ◆ 学習の振り返りとして「どんな考え方をしたら、何が分かったか」を問う。

3 内容の関連

〔第4学年〕飲料水の確保  
○ 「中核的な学習内容」  
：飲料水を確保する対策や事業の目的  
・飲料水を供給する仕組み

〔第4学年〕災害の防止  
○ 「中核的な学習内容」  
：地震に対する防災訓練の目的  
・消防署、消防団の働き

〔第4学年〕ごみの処理  
○ 「中核的な学習内容」  
：廃棄物処理の対策や事業の目的  
・廃棄物処理の仕組み